

東北大学114周年ホームカミングデー



# 創造と変革を先導する 東北大学

2021年10月23日

東北大学総長

大野 英男

教育・研究・社会共創・大学経営の全方位でDXを加速的に推進

距離・時間・国・組織・文化・価値観  
などの壁を越え、社会・世界と  
ダイナミックに繋がる

コロナ禍で顕在化した社会の分断や  
格差を越えてボーダレスかつ  
インクルーシブに世界を繋ぐ

オンライン  
ファースト

共創の場  
キャンパス

- ◆ オンラインを戦略的に活用した多様な教育プログラムの機動的展開
- ◆ 距離・時間・国・文化等の壁を越えた多様な学生の受入れ推進
- ◆ オンラインと対面のベストミックスによるインクルーシブな教育環境の提供

- ◆ ポストコロナ時代のレジリエントな社会構築に向けた研究推進
- ◆ 国際共同研究コミュニティ形成と若手研究者の活躍促進
- ◆ データ駆動型研究とオープンサイエンスの展開

データ駆動型  
研究の展開

- ◆ 不確実性が高まるポストコロナ社会を見据え、変化する課題に迅速に対応し社会価値を創出する機動的な産学共創体制の確立

- ◆ 地方創生・社会課題解決型研究の新潮流への挑戦
- ◆ オンラインを活用した東北大学コミュニティ形成の加速
- ◆ オンラインの訴求力・波及力を駆使した戦略的広報の展開

- ◆ データ活用による大学経営の高度化
- ◆ ニューノーマル時代にふさわしい働き方への変革
- ◆ スマート・ホスピタルの創造

働き場所フリー  
窓口フリー  
印鑑フリー

大変革への挑戦  
社会価値の創造

(東北大学ビジョン2030の  
加速戦略として位置付け)

教育の変革

社会との共創の変革

研究の変革

大学経営の変革

# 教育



# 先進的なAO入試

## 学生の「やる気、挑む心」に応える入試

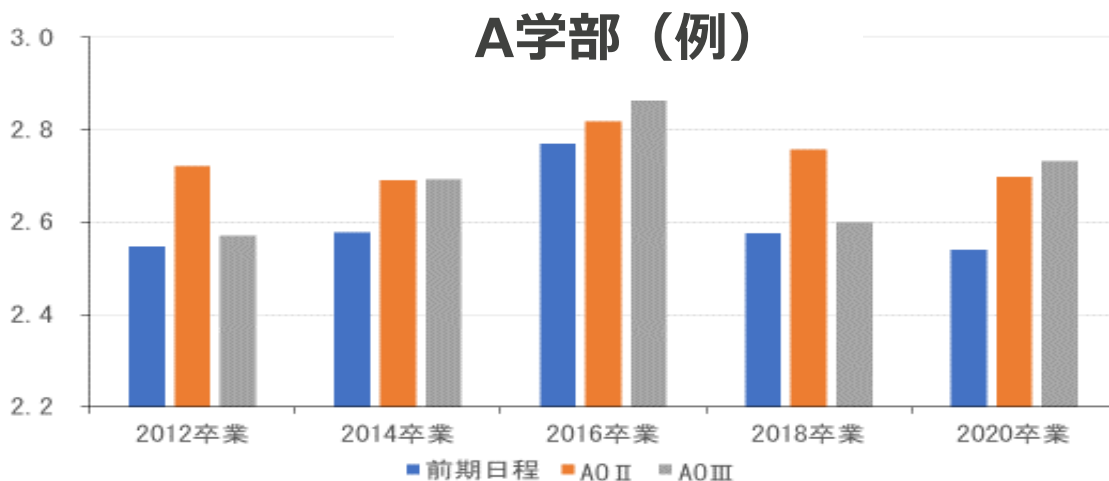
### 東北大学第1志望者のための 入試機会

- 東北大学への思いを伝える場  
志願理由書、面接試験等で、第1志望を確認
- 基礎学力 +  $\alpha$ （意欲、適性、好奇心など）を総合的に評価

### 学力重視のAO入試

- AO入試Ⅱ期：センター試験を利用しない  
AO入試Ⅲ期：センター試験を利用する
- 不合格でも一般入試で再チャレンジ可

### 入学後の成績（卒業までのGPA）



大学での成績は、  
一般入試進学者よりも  
AO入試進学者の方が良い

## 令和3年度入試で30%を達成

AO入試をツールとして学生のポテンシャルを発掘





未来社会の構築に必要な基盤として現代的なリベラルアーツと高  
年次教養教育を含めた分野横断型カリキュラム

## 東北大学挑創カレッジ（現代のリテラシー）

### 東北大学グローバルリーダー育成プログラム

Tohoku University Global Leader Program (TGLプログラム)

様々な分野でグローバルに活躍するために求められる、語学・コミュニケーション力、国際教養力、行動力の修得と海外研鑽

### 東北大学コンピュテーショナル・データサイエンス・プログラム

Tohoku University Computational Data Science Program (CDSプログラム)

数理・データサイエンスの手法を適用して様々な問題を解決していくためのスキル・知識の修得

### 東北大学企業家リーダー育成プログラム

Tohoku University Entrepreneurial Leader Program (TELプログラム)

イノベーションを先導する起業や新事業創出に挑戦していくための知識・行動力の修得

### 全学教育科目 先進科目類 現代素養科目 地域規模課題類（各2単位）

- 2021年10月よりSDGs入門科目先行実施
- 2022年4月より学部3・4年次を対象としたSDGs 5科目新設

SDGsにみるグ  
ローバルガバナ  
ンスと持続可能  
な開発

持続可能性と社  
会共創

SDGs達成の現  
状と課題

持続可能な発展  
と社会

持続可能な社会  
実現に向けたシ  
ステム設計



# Be Global プロジェクト

コロナ禍における新たな国際教育  
モデル構築への取組 (2020年4月～)



- 国際的な学生交流事業の停滞（海外派遣停止、留学生の減少、国際共修非アクティブ化等）により**コロナ禍で浮き彫りになった課題にいち早く挑戦し**、グローバル人材を目指す学生への学修・生活を4つのユニットによる各取組で支援。
- ニューノーマルを見据えた本学の国際教育の**新たな国際教育モデルを構築**することで、サイバー空間とリアル空間の融合的活用を通してボーダーレスかつインクルーシブに世界を繋ぐことを目指す。

## オンライン海外留学

### ◆オンライン短期派遣プログラム

- 2020年夏に米、アジアの2プログラムに26名参加、学生満足度は9割以上がポジティブ
- 2021年春5プログラムのほか、入学前海外研修も3プログラムへ拡充

### ◆Virtual Exchange Program

- 国際大学間コンソーシアム(APRU)と連携した「単位認定型プログラム」
- 2020秋学期現在、本学学生13名が海外協定校の授業を履修



モンタナ大学との  
Virtual Exchange Program

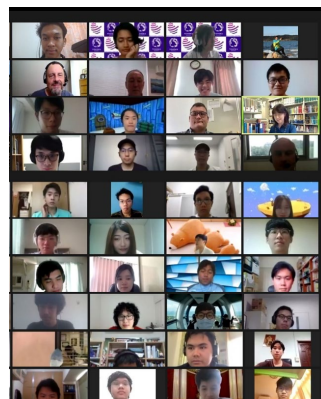
## オンライン留学生教育

### ◆国際コースオンライン入学前教育

- 国際学士コース入学予定者29名への入学前教育をオンラインで実施
- 入国困難な中、母国で基礎知識固めが可能、学生満足度9割以上がポジティブ

### ◆オンライン日本語ショートプログラム

- サマープログラム(TUJP)を2020年はオンラインで2回(12月～2月)実施
- シンガポール国立大など海外有力校の学生が参加予定

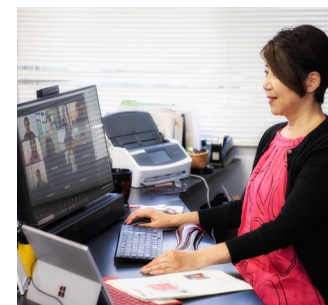


国際学士コース  
オンライン入学前教育

## オンラインで留学生と共に学ぶ

### ◆オンライン国際共修(国内先駆的取組)

- オンラインによる新しい形の「国際共修ゼミ」を、北米3大学の留学生を招き2020年1学期からスタート
- 学生満足度もポジティブ
- 2学期は北米のほか豪州大学の留学生も招いて継続
- 日本にいながら世界各国の留学生とともに学ぶ国際共修クラスを展開中



オンライン国際共修授業を  
実施中の末松和子教授  
(グローバルラーニングセンター)

## オンライン留学生支援

### ◆留学生オンラインヘルプデスク

- 学生同士によるピア・サポート型「ヘルプデスク」オンライン版を開始
- 特別定額給付金の申請、国民年金システム理解講座、Covid-19対応方法、留学生帰国前手続きなど、なんでも相談受付

### ◆オンラインオリエンテーション

- 新入学の留学生向け「オリエンテーション」をオンラインで実施
- 留学生向けの各種説明会も実施中



オンラインヘルプデスク



# コロナ禍における課外活動

- 文化系、体育系の特性を踏まえたガイドラインを策定し、感染状況に応じて可能な活動範囲を提示
- 各課外活動団体の活動計画立案を支援

## 新歓イベント「Spring Festival」

6/5: 体育部, 6/6: 文化部 計 306名参加







## グローバルリーダーとして世界で活躍する博士人材の育成に向けた取組

- 本大学院の学生に対し、学問領域の壁を超え、かつ、国境の壁を超えた先進的かつ学際的な教育を複数の研究科等の密接な連携の下、一体的に行うことにより、国際的な指導者として活躍する人材を育成
- 学際・国際・産学共創を理念とする多様な学位プログラム群を展開



### 国際共同大学院 プログラム

海外有力大学との強い連携のもと  
共同教育を実践することにより、  
グローバル人材を育成

- スピントロニクス
- データ科学
- 生命科学（脳科学）
- 日本学
- 災害科学・安全学
- 環境・地球科学
- 宇宙創成物理学
- 機械科学技術
- 材料科学



### 産学共創大学院 プログラム

国内外の企業及び研究機関との共  
創により社会的課題の解決に挑戦  
して社会にイノベーションをもた  
らすことのできる人材を育成

- 未来型医療創造卓越大学院
- 人工知能エレクトロニクス卓越大学院
- 変動地球共生学卓越大学院



### リーダー ディング プログラム

大学院の学生に対し俯瞰力及び独  
創力を身に付けさせ、もって広く  
産学官にわたりグローバルに活躍  
する指導的人材を育成

- グローバル安全学トップリーダー育成  
プログラム
- マルチディメンジョン物質理工学  
リーダー養成プログラム



### 学際高等研究 教育院

異分野の融合領域における新たな  
研究分野の研究成果を基盤とした  
教育により、次世代のアカデミア  
を担う若手研究者の養成

- 先端基礎科学
- 人間・社会
- デバイス・テクノロジー
- 情報・システム
- 生命・環境
- 物質材料・エネルギー

# 人生100年時代に向けて ～専門職大学院における教育の推進

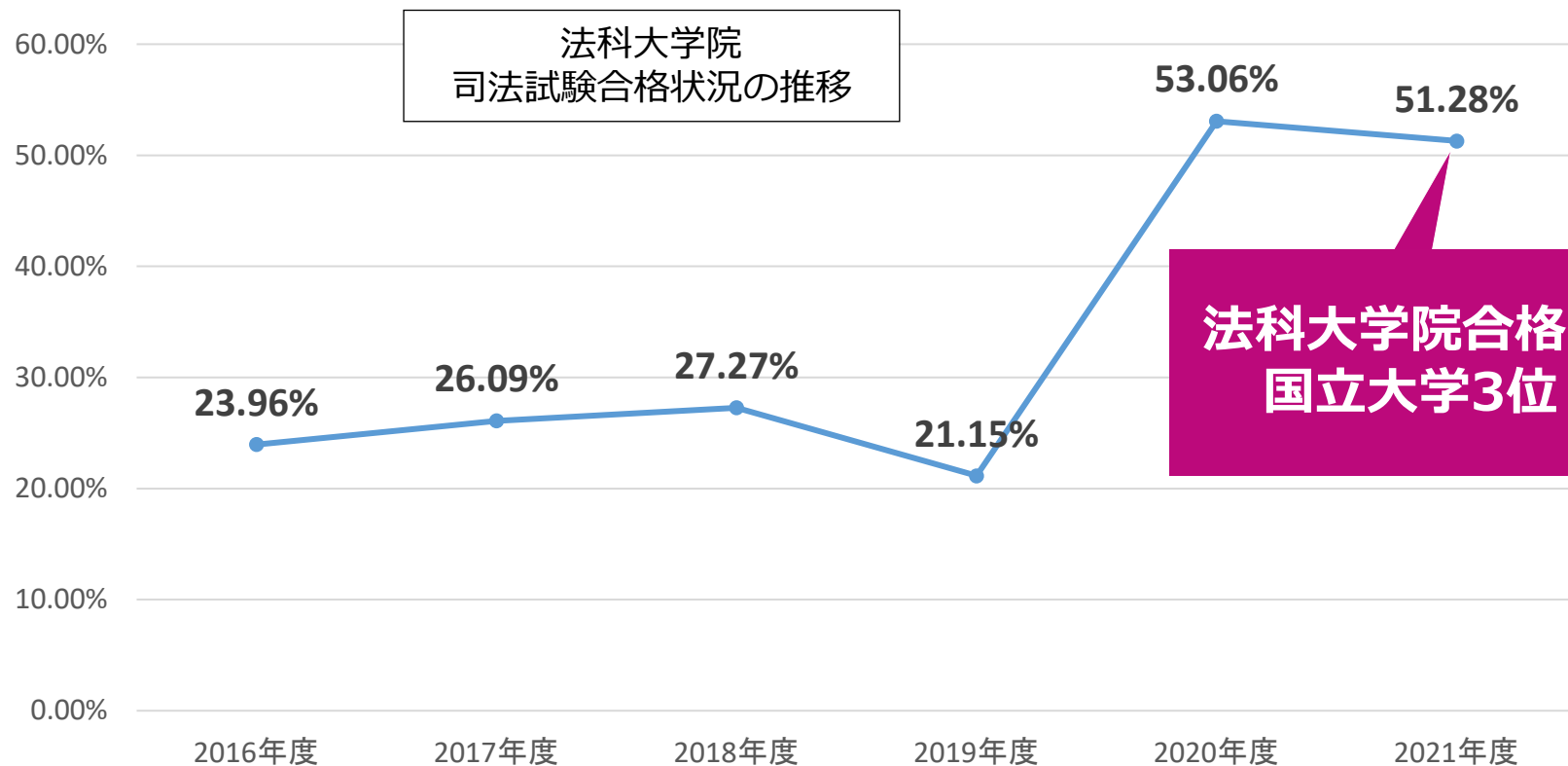
- 社会に開かれた高等教育機関として、社会人の学習機会の一層の拡大・充実に努めることが重要
- 特に職業人を対象として実施する職業志向の教育の拡充について、本学に寄せられる期待は大きい
- 18歳人口が大幅に減っていく中、人生100年時代に向けて社会人をターゲットとしたリカレント教育を推進
- 本学では、2004年以降、以下3つの専門職大学院を設置

## 専門職大学院

法科大学院  
2004年設置

公共政策大学院  
2004年設置

会計大学院  
2005年設置

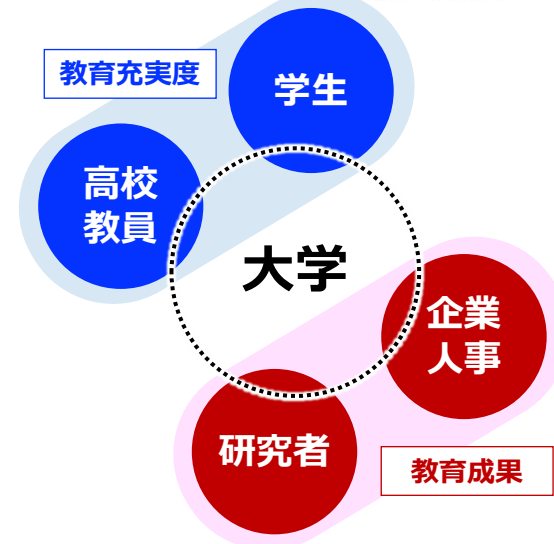






## THE世界大学ランキング日本版2020,2021 総合評価 1位

| 評価指標                | 2020        | 2021        |
|---------------------|-------------|-------------|
| 総合<br>Overall       | 83.0<br>1位  | 84.5<br>1位  |
| 教育リソース<br>Resources | 84.1<br>3位  | 78.4<br>5位  |
| 教育充実度<br>Engagement | 80.6<br>10位 | 82.4<br>8位  |
| 教育成果<br>Outcomes    | 96.6<br>4位  | 98.4<br>2位  |
| 国際性<br>Environment  | 73.9<br>24位 | 86.8<br>15位 |



## 朝日新聞出版「大学ランキング2021」

### 高校からの評価 総合評価 1位

※16年間で、総合1位を15回

#### 高校からの評価指標

- 進学先で生徒が伸びた
- 進路支援が充実
- 国際化に力を入れている
- 情報開示に熱心



## 研究と社会共創





## 材料科学

AIMR、金属材料研究所、多元物質科学研究所等を中心とした卓越した研究成果により「材料科学」の主要分野で世界をリード

- 世界最大規模の研究者群：約400名体制



小谷元子教授（高等研究機構長）

## 未来型医療

東北メディカル・メガバンク機構による世界初の大規模3世代コホート調査と未来型医療への貢献（15万人規模のバイオバンク）

- 個別化医療、個別化予防の研究展開



山本 雅之教授（東北メディカル・メガバンク機構長）

## スピントロニクス

世界のスピントロニクス研究を名実ともに先導し、集積エレクトロニクスの未来を拓く国内外産学連携を推進

- 論文引用度および特許で世界トップの実績



平山 祥郎教授（理学研究科）

## 災害科学

文理を融合させた新たな学際研究領域として、「災害科学」を世界に先駆けて開拓するとともに、東日本大震災の経験を世界発信

- UNDPと災害統計グローバルセンター設置



今村 文彦教授（災害科学国際研究所長）

本学が強みを有するその他の5領域：

宇宙創成物理学、環境・地球科学、機械科学、データ科学、日本学

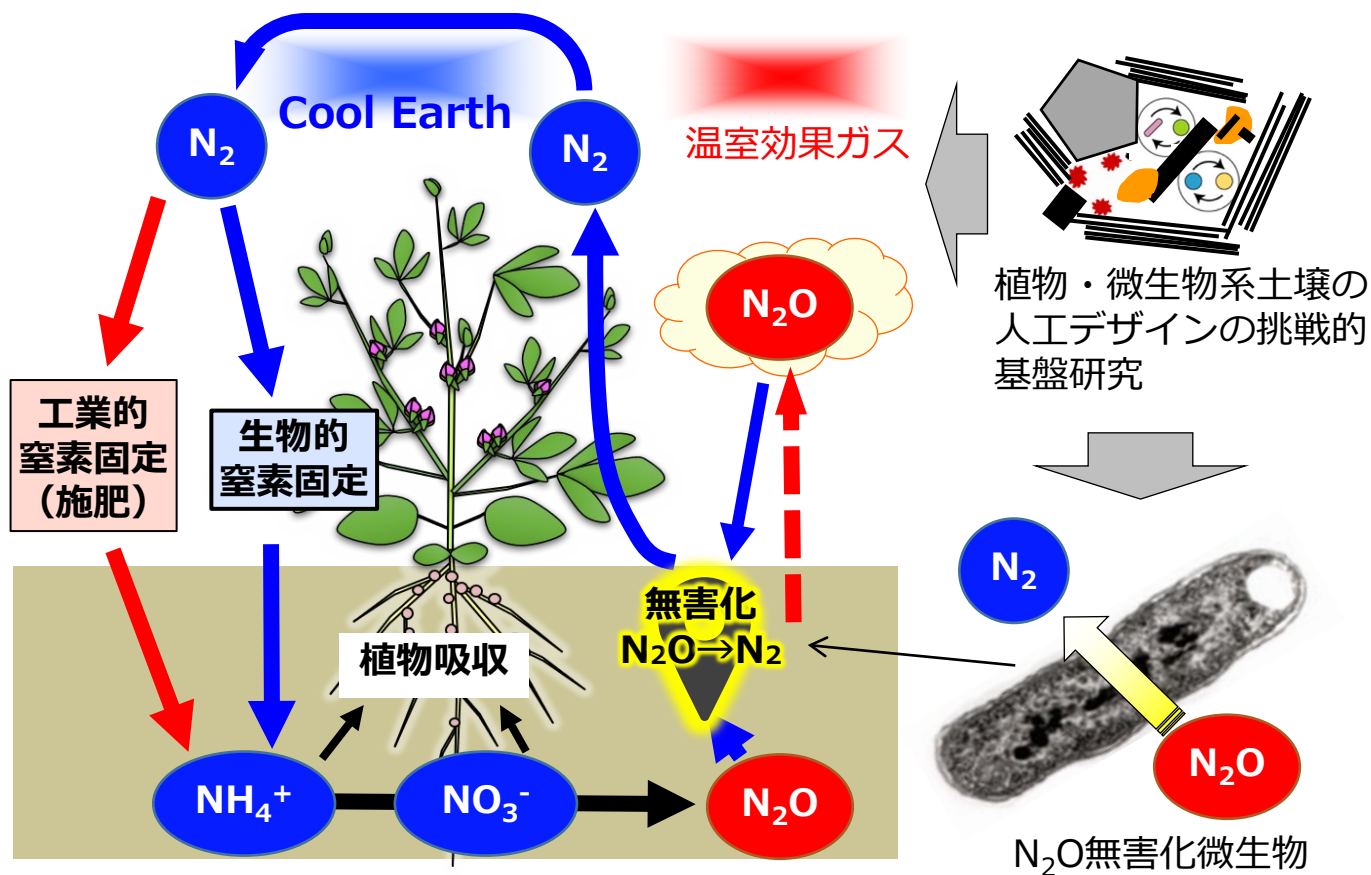


# 農地由来の温室効果ガス80%削減

13

ムーンショット目標4「2050年までに、地球環境再生に向けた持続可能な資源循環を実現」に選定（2020年8月）

- 2050年までに農地由来温室効果ガス $\text{N}_2\text{O}$ と $\text{CH}_4$ を80%削減



南澤究  
東北大学生命科学  
研究科  
土壤微生物分野  
特任教授

窒素循環の最適化による $\text{N}_2\text{O}$ の排出削減の例示

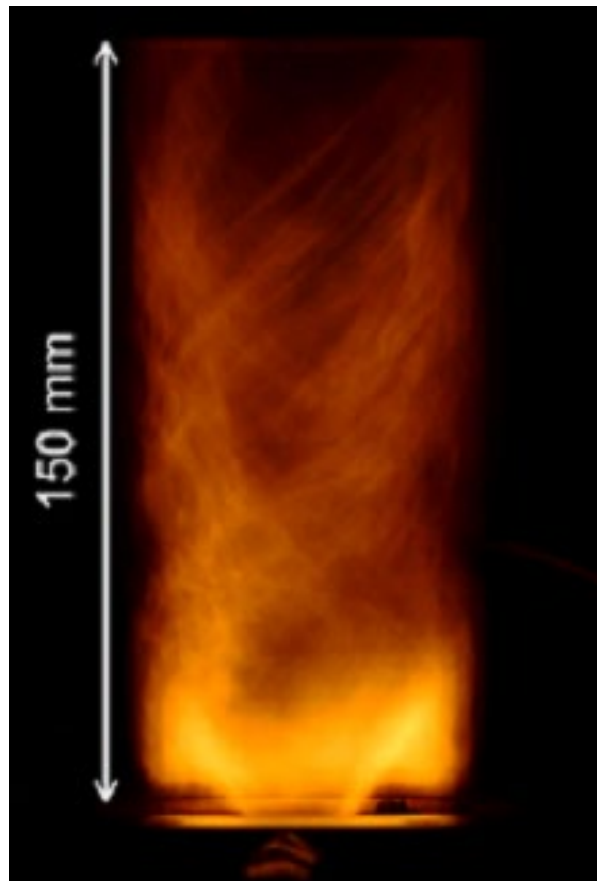




# アンモニア燃焼による火力発電

アンモニア燃焼における $\text{NO}_x$ 発生を抑制。火力発電へ道を拓く  
(2015～)

- $\text{CO}_2$ を排出しないアンモニアを燃料とするガスタービン発電の実用化に大きく前進（JERAなどで実用実証中）



小林 秀昭  
東北大学流体科学研究所  
高速反応流研究分野  
教授



## 構成員の自発的活動を基盤として200を超える コロナ研究アクションを展開

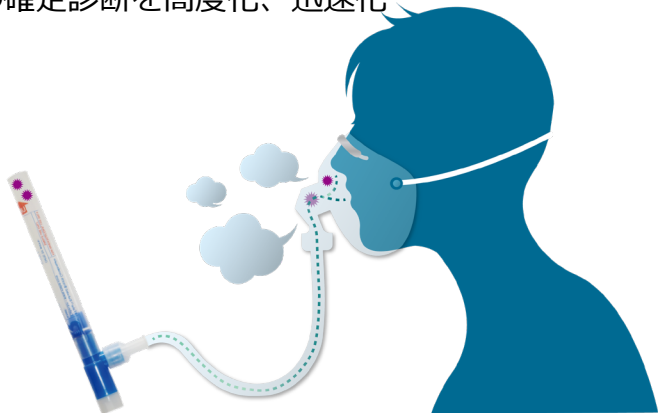
- 本学構成員による自発的研究プロジェクト「コロナ研究アクション200+」を機動的に推進することで革新的検査モデルの確立や分野横断型研究組織を創設（2020.4～8）

|                                                      |
|------------------------------------------------------|
| 4月27日「新型コロナウイルス感染症対策に資する研究開発の全学調査」開始（締切5月7日）         |
| 5月11日 調査集計の結果、7本柱を軸とした新型コロナウイルス研究に貢献する取組229件確認       |
| 6月24日「ポストコロナ社会構築研究スタートアップ支援」募集開始 → 32件中、10件採択（9月16日） |
| 8月1日 学際研究重点拠点「感染症共生システムデザイン学際研究重点拠点」認定               |



## 事例①ウイルス感染症の 革新的な検査モデルの確立

- 従来実施されている鼻や口（咽頭）からの侵襲的サンプル採取・検査システムにかわる新たな新型コロナ診断法として、呼気を用いた無侵襲サンプリングと呼気オミックス解析法を開発し革新的な検査システムを確立
- ウイルス感染症の重症度や予後判定、コロナウイルス感染の確定診断を高度化、迅速化



## 事例②感染症共生システム デザイン学際研究重点拠点の創設

- 感染症と共存し持続可能でレジリエントな社会を実現するために、自然科学のみならず人文社会科学の研究者が広く参画する学際的な研究組織を創設

### 感染症共生システムデザイン 学際研究重点拠点

|                          |
|--------------------------|
| ビックデータの構築およびバイオモデリング     |
| 感染動態研究、検査関連研究            |
| 最新の公衆衛生対策医療介護連携          |
| 早期診断法の開発                 |
| 国際法や国際政治、国際機関の支援の在り方     |
| 災害や感染症について文化・歴史・宗教・哲学的考察 |
| 細胞・生体機能解析                |
| 病原体の起源・国際協調遺伝子解析         |
| 社会的パラメータを入れた予測モデルの構築     |
| 地理情報による感染の広がりなどを予測       |



押谷教授  
政府新型コロナ感  
染症対策分科会  
構成員



# 創発的研究支援事業 採択者1位（令和2年度）

16

JST創発的研究支援事業における令和2年度新規研究課題が決定され、応募総数2,537件に対し252件が採択となり、うち本学から**27件が採択**となった。

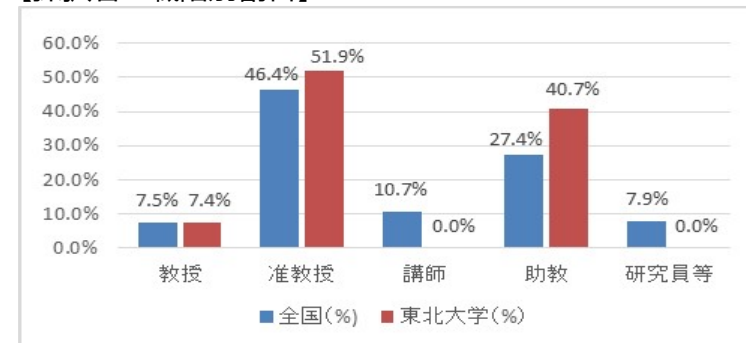
【採択者一覧】教授2名、准教授14名、助教11名

| No. | 氏名      | 所属部署          | 役職  |
|-----|---------|---------------|-----|
| 1   | 米倉 和也   | 理学研究科         | 准教授 |
| 2   | 太田 雄策   | 理学研究科         | 准教授 |
| 3   | 大野 誠吾   | 理学研究科         | 助教  |
| 4   | 浅井 禎吾   | 薬学研究科         | 教授  |
| 5   | 有澤 美枝子  | 薬学研究科         | 准教授 |
| 6   | 松田 信幸   | 工学研究科         | 准教授 |
| 7   | 野々村 拓   | 工学研究科         | 准教授 |
| 8   | 清水 裕樹   | 工学研究科         | 准教授 |
| 9   | 好田 誠    | 工学研究科         | 准教授 |
| 10  | 菊地 謙次   | 工学研究科         | 准教授 |
| 11  | 小原 良和   | 工学研究科         | 准教授 |
| 12  | XU XIAO | 工学研究科         | 助教  |
| 13  | 原 健士朗   | 農学研究科         | 准教授 |
| 14  | 常松 友美   | 生命科学研究科       | 助教  |
| 15  | 梅津 大輝   | 生命科学研究科       | 助教  |
| 16  | 熊谷 将吾   | 環境科学研究科       | 助教  |
| 17  | 宮本 吾郎   | 金属材料研究所       | 准教授 |
| 18  | 南部 雄亮   | 金属材料研究所       | 准教授 |
| 19  | 魏 范研    | 加齢医学研究所       | 教授  |
| 20  | 椋平 祐輔   | 流体科学研究所       | 助教  |
| 21  | 筈居 高明   | 多元物質科学研究所     | 准教授 |
| 22  | 鬼塚 和光   | 多元物質科学研究所     | 准教授 |
| 23  | 松本 伸之   | 学際科学フロンティア研究所 | 助教  |
| 24  | 大学 保一   | 学際科学フロンティア研究所 | 助教  |
| 25  | 佐藤 伸一   | 学際科学フロンティア研究所 | 助教  |
| 26  | 郭 媛元    | 学際科学フロンティア研究所 | 助教  |
| 27  | 奥村 正樹   | 学際科学フロンティア研究所 | 助教  |

【機関別採択者数】

| 順位 | 所属部署        | 件数        |
|----|-------------|-----------|
| 1  | <b>東北大学</b> | <b>27</b> |
| 2  | 東京大学        | 22        |
| 3  | 京都大学        | 20        |
| 4  | 大阪大学        | 18        |
| 5  | 九州大学        | 14        |

【採択者 職階別割合】



【総長と採択者との懇談会】 4回開催







## サイエンスパーク型研究開発拠点整備を加速

- アンダーワンルーフ型産学共創拠点・農学研究科・災害科学国際研究所等が立地する青葉山新キャンパス（81万㎡）については、**戦略的ファイナンス（260億円規模の自己財源：土地売却等で確保）により整備済み**
- 次世代放射光施設総額約380億円を**官民パートナーシップ（パートナー整備費半額負担）により整備し**、2023年運用開始予定
- 民間寄付により整備した**国際集積エレクトロニクス研究開発センター、マテリアル・イノベーション・センターに加え、次世代放射光施設に隣接する約4万㎡にインキュベーション施設・大型共同研究ラボ施設等を**産学官の相乗的な投資により整備し**、サイエンスパーク型研究開発拠点整備を加速

### 青葉山新キャンパス（81万㎡）

#### 国際集積エレクトロニクス研究開発センター

- 民間寄附による研究棟整備
- 民間先端設備の導入
- 復興特区、税制優遇等の活用



#### 災害科学国際研究所

#### 農学研究科

#### アンダーワンルーフ型 産学共創拠点（2018年10月）

#### マテリアル・イノベーション・センター

- 民間寄附による研究棟整備
- 材料科学分野における  
オープンイノベーション



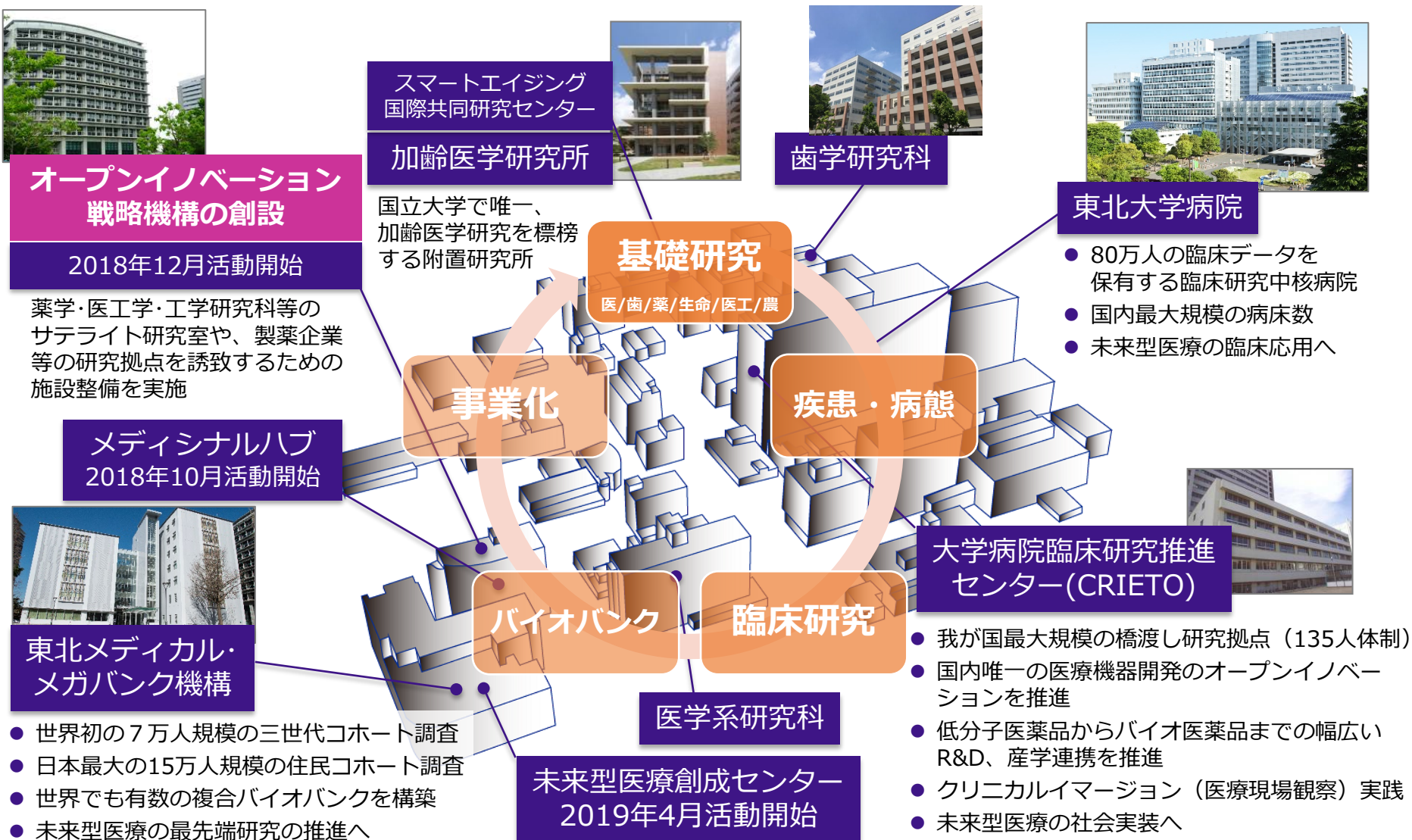
#### 次世代放射光施設建設予定地 （2023年運用開始予定）

サイエンスパーク約4万㎡  
CGイメージ





星陵キャンパスでは、ライフサイエンス分野におけるオープンイノベーション拠点を創造し、国内最大級のアンダーワンループ開発体制を確立





- 2021年5月24日から東北大学（宮城県・仙台市）ワクチン接種センター開設、市民を対象とした一般接種を開始
- 6月21日から本学の学生・教職員等を対象とする大学拠点接種（職域接種）を開始（希望者への任意接種）
- 7月17日から近隣大学等（13校）接種開始

**センター総接種件数**（2021年9月24日現在）

1回目約23万件、2回目約17万件

**東北大学での接種率**（2021年9月24日現在）

学生約88%、教職員約85%、全体約87%



東北大学病院 病院長  
富永 悌二



東北大学病院 副病院長  
ワクチン接種センター長  
張替 秀郎

## ワクチン接種予約システムの独自開発

- 6月 5日 ワクチン接種予約システム開発着手（内製）
- 6月 8日 初期版システムリリース（実質3日で開発）  
教職員接種予約受付（最大20件/秒）
- 6月11日 接種開始
- 6月12日 英語版システムリリース
- 6月15日 学外者登録機能（Google Formとの連携）
- 6月17日 学生接種予約受付（最大36件/秒）
- 6月21日 学生接種開始
- 7月17日 近隣大学（13大学）接種開始

東北大学コロナウイルス  
ワクチン接種予約システム  
Tohoku University COVID-19  
Vaccination Reservation  
System

ユーザ名(TU ID)  
xxxxxxxxx

パスワード(password)  
\*\*\*\*\*

ログイン(Log in)

ワクチン接種申込(新規) [English](#)

氏名  
中村 直毅

東北大メール(固定)  
naoki.nakamura.b2@tohoku.ac.jp

通知用メールアドレス(任意)  
東北大メール以外に通知が欲しい場合

一回目ワクチン接種※()内は、空き枠数  
2021年07月12日(月)09:45-10:00(20)

二回目ワクチン接種  
2021年08月09日(月)09:45-10:00

4週間後の同じ曜日・同じ時間帯(固定)

登録



メディカルITセンター  
副部長（准教授）  
中村 直毅



The diagram illustrates the timeline of disaster recovery and green future creation mechanisms. It features a vertical timeline on the left with two main dates: 2011.04 and 2021.04. The timeline is divided into two main sections: a blue section for disaster recovery and a green section for green future creation. The blue section includes a box for 'Disaster Recovery and New Research Institution Setup' and 'Recovery Action Start' in 2011.04, and a box for 'Research with Impact on Society' starting in 2015.07. The green section includes a box for 'Green Future Creation Mechanism Setup' in 2021.04, and three sub-sections: 'Green Technology', 'Social Innovation & Inclusion', and 'Recovery & Resilience'.

**2011.04** 災害復興新生研究機構設置  
復興アクション開始  
復興・新生に向けた重点研究の推進と  
社会実装

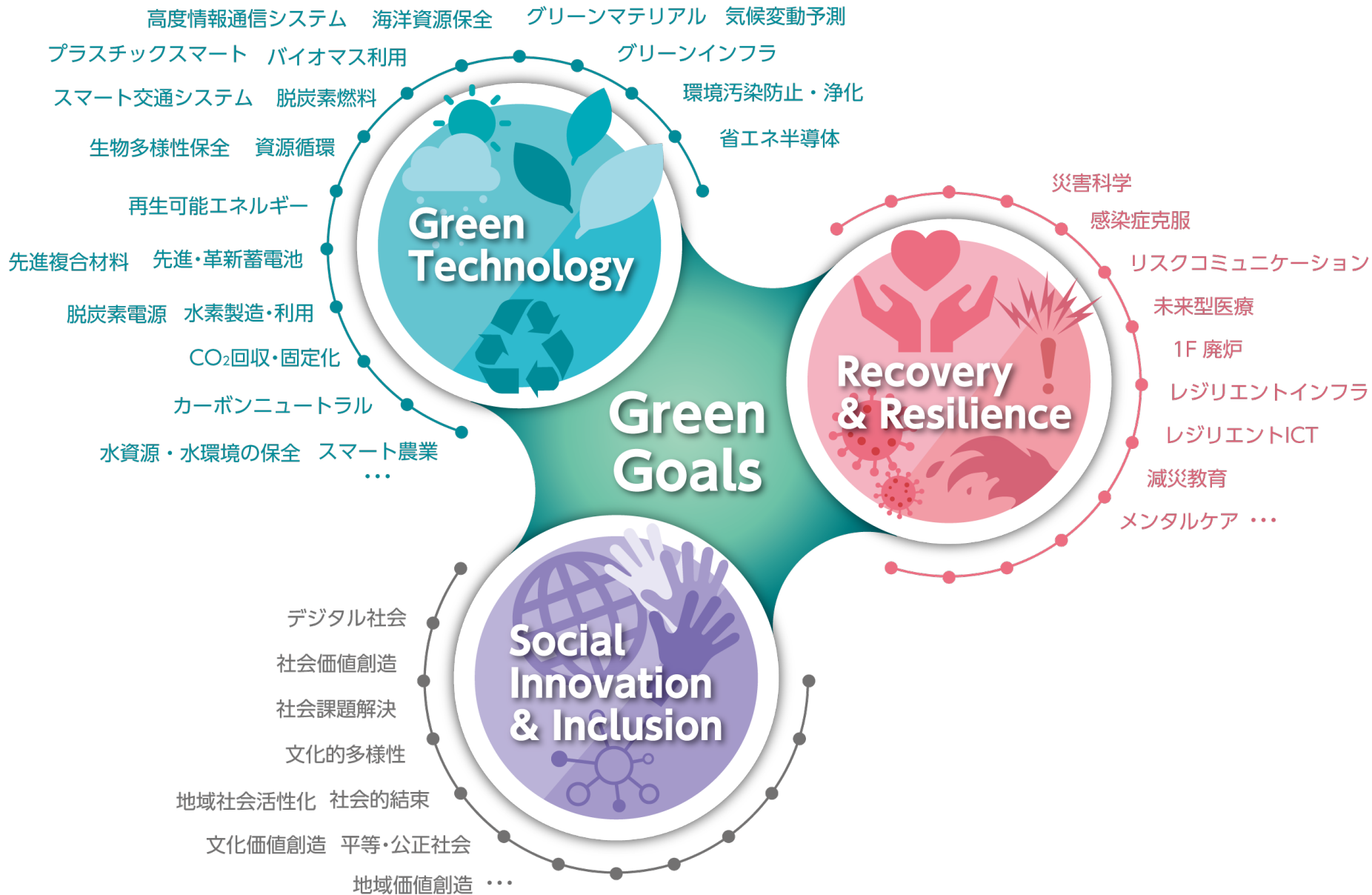
**2015.07** 「社会にインパクトある  
研究」開始  
重要な社会課題の解決を目的  
とした分野横断・学際研究の  
展開

**2021.04** グリーン未来創造機構設置  
環境および社会問題にも配慮した、持続可能で、あらゆる災害・感染症に  
レジリエントなグリーン社会創造への挑戦

**Green Technology**  
カーボンニュートラル、  
気候変動予測、  
グリーンマテリアル、  
資源循環・・・

**Social Innovation & Inclusion**  
地域社会活性化、  
地域価値創造、  
社会価値創造、  
社会課題解決・・・

**Recovery & Resilience**  
災害科学、感染症克服、  
未来型医療、1F廃炉、  
レジリエンICT・・・





## 東北大学萩友会・基金





- 創立100周年の2007年に東北大学校友会を発足
- 2009年6月に「東北大学萩友会」を正式名称に
- 会員は15万人余の卒業生に加え、在校生、現旧教職員、在校生・卒業生のご家族、その他東北大学支援者



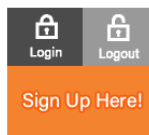


- 現在、海外に8つの登録同窓会があり、様々な機会を通じた交流
- 海外同窓生向けウェブプラットフォーム“Tohoku University Alumni Network”を2021年3月に新たにオープン
- 145ヶ国に広がる東北大学同窓生が本学と今一度つながりを持ち、東北大学コミュニティの強化促進



| 同窓会名            |              | 設立    |
|-----------------|--------------|-------|
| ① 日本東北大学韓国同窓会   | 登録同窓会の前身から存在 |       |
| ② 全学同窓会台湾同学会    |              |       |
| ③ 日本東北大学中国校友会   |              |       |
| ④ 東北大学インドネシア同窓会 |              | 2010年 |
| ⑤ ニューヨーク萩友会     |              | 2015年 |
| ⑥ モンゴル萩友会       |              | 2017年 |
| ⑦ 東北大学タイ萩友会     |              | 2018年 |
| ⑧ 東北大学ベトナム同窓会   |              | 2019年 |

## “Tohoku University Alumni Network” ウェブプラットフォーム



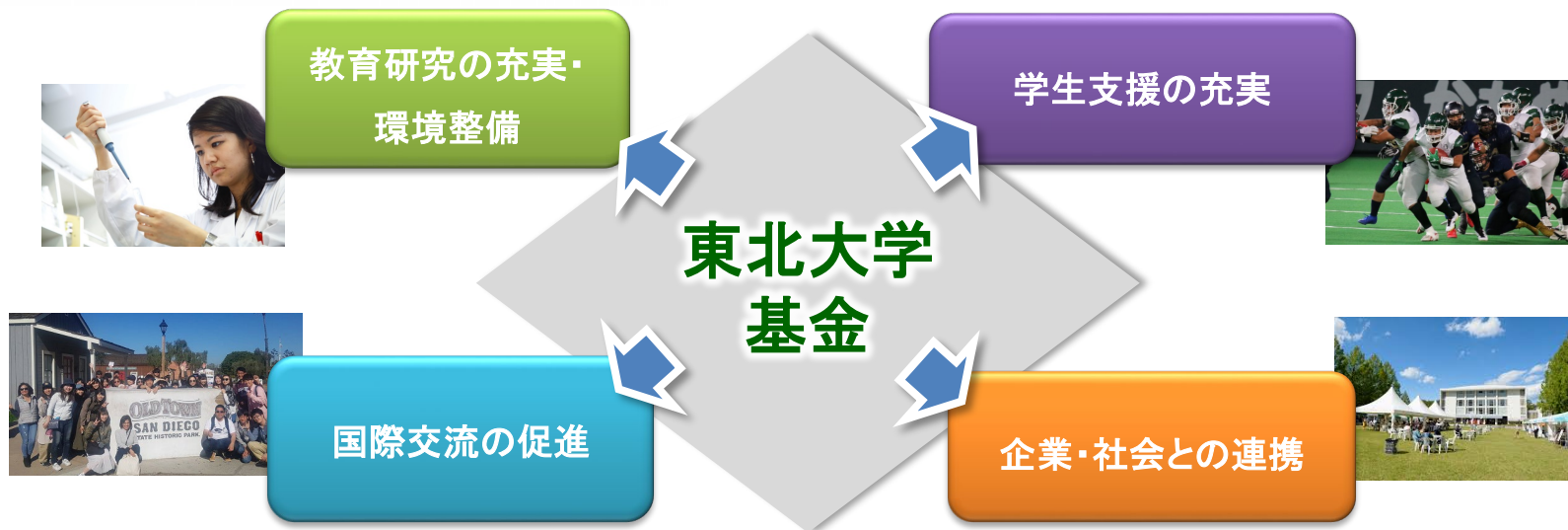
### Updates

|                     |            |                                                                                                |
|---------------------|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| Regional Activities | 2021-07-19 | (Report) Webinar and talk 1st in TUAHV                                                         |
| Alumni Stories      | 2021-07-13 | Using international certification programs for green buildings to provide sustainability co... |
| University News     | 2021-07-08 | Tohoku University Alumni Network – Founder's Day Get-Together                                  |
| Careers             | 2021-07-02 | Recruitment Notice: Global Engagement Division, Tohoku University                              |
| University News     | 2021-07-02 | Crowdfunding to Help Catch Pancreatic Cancer Earlier and Create Better Treatment Optio...      |

<https://overseas-alumni.bureau.tohoku.ac.jp/>



本学は世界を先導する教育研究の持続的発展の実現を目指し、基金の拡充を図り、それを原資とした運用益で各事業を展開



## 大学基金規模の比較(2019年度末)

(億円)

| 東北大 | 東京大 | 京都大 | 名古屋大 | ハーバード大 | イエール大  | ケンブリッジ大 | オックスフォード大 |
|-----|-----|-----|------|--------|--------|---------|-----------|
| 33  | 149 | 197 | 172  | 45,023 | 33,346 | 4,591   | 8,235     |

東北大学の取り組みにご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

○ご寄附のお申込みはこちらから▼

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kikin/japanese/topics/kyousyokuinn.html>



東北大学基金

検索





**東北大学は、創造と変革を先導  
する大学として、ここに掲げる  
取組を確実に実行することによ  
り教育・研究・社会との共創の  
好循環を実現し、未来へ向けた  
社会変革を力強く先導します**

